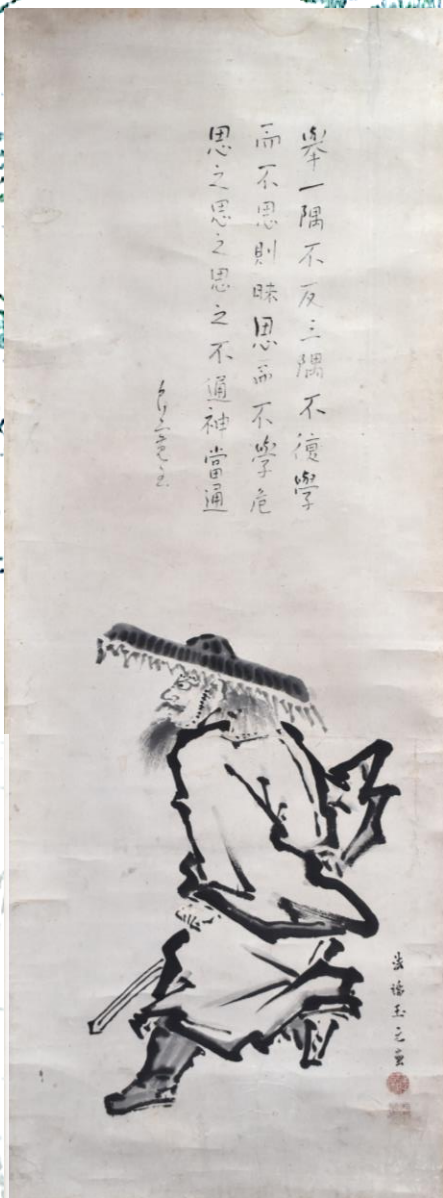


国登録有形文化財 出雲崎町良寛記念館 前期特別展

『出雲崎ゆかりの文人展』



玉元画・良寛讀『鍾馗図』新潟県在住 個人蔵



泰人画讀『釣人』新潟県在住 個人蔵

2024 年

4/20 (土) ▶ 9/1 (日)

※期間中一部展示替えをいたします

【開館時間】 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで)

【休館日】 期間中なし

【入館料】 一般:400 円(300 円)/高校生:200 円(150 円)/小・中学生:100 円(70 円)

- ・()内は 20 名以上の団体料金
- ・障がい者手帳をお持ちの方は半額
- ・燕市分水良寛史料館、長岡市良寛の里美術館いずれかの入館券の提示で 100 円割引

【主催】 出雲崎町教育委員会 【後援】 全国良寛会



補助が必要な方は、スロープ脇のインターホンで係員をお呼びください。
多目的トイレは駐車場にあります。

【お問い合わせ】

< 国登録有形文化財 >

良寛記念館

〒949-4342 新潟県三島郡出雲崎町大字米田 1 番地
TEL. 0258-78-2370 FAX. 0258-78-4748
URL <http://www.ryokan-kinenkan.jp>

『ギャラリートークのご案内』

講 題 「出雲崎ゆかりの文人たち」

解 説 新潟大学 教授 岡村 鉄琴 氏

場 所 良寛記念館展示館

日 時 2024 年 5 月 26 日 (日) 11:00~11:30

定 員 35 名

参加費 無 料

※ギャラリートーク当日は、駐車場での車の混雑が予想されます。混雑の場合は、臨時駐車場のご利用をお願い致します。

「良寛と天領出雲崎に集った文人たち」

出雲崎の歴史は古く、伝承では神代の大国主命が、佐渡島平定の足掛かりとして2年間滞在したと云われている。そして、この土地の重要性と愛着から、生まれの出雲国の「出雲」と険しい岬を意味する「崎」を合わせ「出雲崎」と名付けたと云われる。出雲崎は、大国主命が重要な港と称したように、江戸時代には北前船の寄港地、さらには佐渡で採掘された金銀の荷揚げ場となり、江戸幕府の直轄地「天領」となる。そして、日本全国から多くの人や物資が集約する都市となったのである。出雲崎に集った人の中には、当時日本でも有数の文人たちがおり、出雲崎の文化を飛躍的に発展させたのである。その、文化向上の最中に生まれたのが、良寛であった。

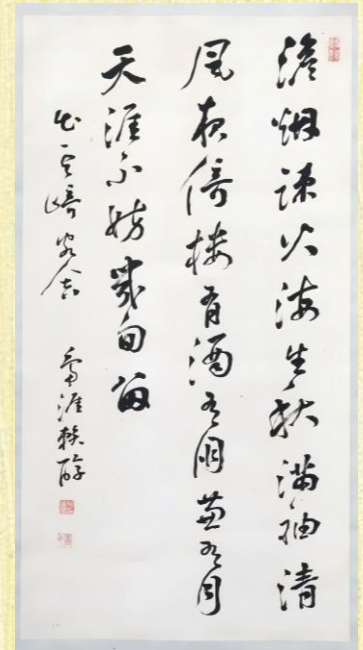
本特別展は、良寛とその家族や出雲崎に集った文人たちが遺した作品を展示し、当時「越後の文化の中心」と云われた「出雲崎」を紹介する展覧会である。



中江杜徴「淡彩富士図自画讃」



良寛遺墨和歌「あきの夜は」



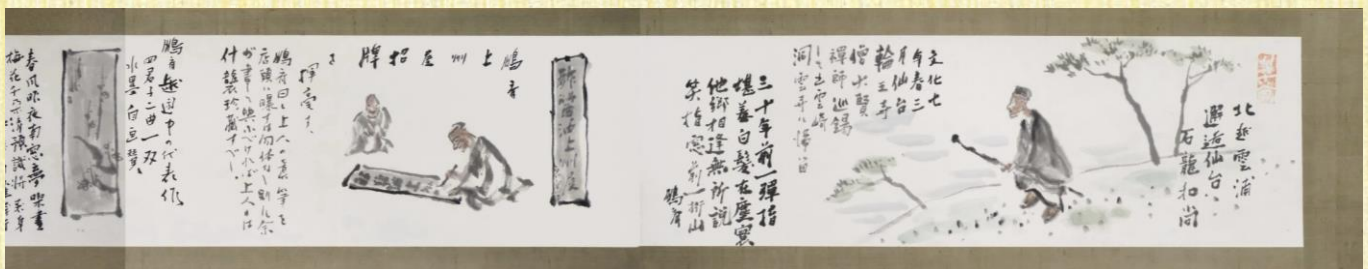
頼鴨涯「出雲崎客舎詩」



松岡 譲「淡彩自画讃句」



良寛遺墨和歌「きてみれば」



北村翠谷「亀田鵬斎逸伝」

○交通のご案内

○良寛記念館周辺略地図

○お問い合わせ先

- 【電車】** 長岡駅から信越線柏崎駅乗換え越後線出雲崎駅下車、出雲崎車庫行バス(約7分)にて良寛記念館前下車、下車後徒歩(約5分)
- 【バス】** 長岡駅前発(中永線)出雲崎町車庫行(65分)、柏崎駅発(海岸線)出雲崎車庫行(60分)良寛記念館前下車
- 【車】** 北陸自動車道(西山I.Cより約20分、長岡北スマートI.Cより約20分)駐車場・大型2台/普通車10台(臨時駐車場有り)



<国登録有形文化財>
出雲崎町 良寛記念館

The Ryokan Memorial Museum

〒949-4342

新潟県三島郡出雲崎町大字米田1番地

TEL. 0258-78-2370 FAX. 0258-78-4748

URL <http://www.ryokan-kinenkan.jp>

良寛記念館

当館はバリアフリーを完備しております。補助が必要な方は、スロープ脇のインターホンで係をお呼びください。多目的トイレは駐車場にございます。